

令和7年5月22日

図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議（第4回）資料

JPIC 松木

I. JPIC 読書アドバイザーの現状

【資格の概要・意義】

平成2年7月に生涯学習振興法が施行され、学校教育とは別の生涯学習の振興が謳われました。JPICは、これに呼応して、「出版文化産業と読書活動を通じて生涯学習の推進を図る」旨を事業目的の一つに掲げて平成3年3月に設立されました。

翌4年9月には、通産省より、産業構造審議会生涯学習振興部会の中間報告が発表され、その中で、生涯学習関連産業として、カルチャーサービス産業、出版産業、スポーツ産業の三業種が挙げられました。JPICでは、設立以来「生涯学習と読書をコーディネートする」人材を育成するための事業を検討しており、その具現策として平成5年3月に第1期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」を開講しました。

当初は、50名を募集することとし、受講者が本当にいるか不安でしたが、1,200名を超える応募があり、急きょ受講生を100名に拡大し対応。第1期が同年9月に修了直後、第2期を同月に前倒し開講するといううれしい誤算でスタートしました。

以来、第4期は東京会場100名・大阪会場100名や、第6期は50名開催（100名集まらなかったわけではなく、濃密に進めたいとの考えから）など、試行錯誤しながらも順調に進みました。

平成18年度は、カリキュラムの大幅な見直しを行うと同時に、「校長」として俳優の児玉清氏に就任いただき、平成24年5月にお亡くなりになる直前の第18期修了式までご指導いただきました。

令和7年、第32期を準備中ですが、これまで、一度も定員割れをしたことはなく、「読書」「読書推進活動」への関心の高さを実感しています。

「読書・本が好き」という共通項を持つ方々が、年齢・性別・地域・職業を問わず集まるスクーリングは、「学びの場」だけでなく「交流の場」としても貴重で、過去には、Web学習などの案も出ましたが、これまでは、「集い、ともに時間を過ごす」ことにも価値を認め、每期、スクーリングを実施しています

* 現在は、4回8日間、テキストは5年ごとに更新、最新の執筆者は添付の通り。

【第31期 講義の内容】

第
1
回

開催日	時間	課 目	講 師
8月31日 (土)	10:00 } 17:30	出版事業	星野 渉／文化通信社取締役社長執行役員
		編集	富川淳子／元跡見学園女子大学文学部教授
		印刷	佐々木 愛／大日本印刷株式会社、市谷の杜 本と活字館
		その他	開講式、講座について (JPIC)
9月1日 (日)	10:00 } 17:40	出版社	島田潤一郎／夏葉社代表取締役
		出版流通	柴野京子／上智大学文学部教授、本の学校理事長
		書店	小西康裕／selwado.book.store 代表
		古書	岡崎武志／ライター、書評家

第
2
回

開催日	時間	課 目	講 師
10月26日 (土)	10:00 } 16:50	読書推進	田口幹人／NPO 法人読書の時間理事長
		図書館	大串夏身／昭和女子大学名誉教授
		本の紹介	東 えりか／書評家
10月27日 (日)	10:00 } 17:00	多様な読書	野口武悟／専修大学文学部教授
		イベント	内沼晋太郎／NUMABOOKS代表取締役・ブックコーディネーター
		その他	グループディスカッション

第
3
回

開催日	時間	課 目	講 師
2025年 1月25日 (土)	10:00 } 15:50	選書	染谷拓郎／株式会社ひらく代表 プランニング・ディレクター
		10 代の読書	飯田一史／ライター
		こどもの読書	鈴木みゆき／國學院大学 人間開発学部 子ども支援学科教授 博士 (医学)
1月26日 (日)	10:00 } 17:10	電子書籍	植村八潮／専修大学文学部教授
		ブックトーク	徐 奈美／関東学院小学校司書教諭
		選書／本棚編集	太田 剛／編集工学機動隊 GEAR 代表 図書館と地域をむすぶ協議会代表、慶應義塾大学講師
		その他	編集工学 (基礎) ワークショップ

第
4
回

開催日	時間	課 目	講 師
3月29日 (土)	10:00 } 17:00	著作権	福井健策／弁護士
		修了生にきく	※修了生数名に現在の活動などをお伺いします
		その他	グループディスカッション
3月30日 (日)	10:00 } 16:50	情報収集	落合早苗／O2O Book Biz 代表、 日本出版インフセンター (JPO) 特別委員
		コミック	横手拓治／淑徳大学人文学部教授
		修了記念講演	風良ゆう／小説家
		その他	修了式

【資格取得者の特徴】

第 24 期～31 期 講座受講生一覧（属性別）

■年代

10代	6	1.0%
20代	101	12.1%
30代	131	16.2%
40代	193	22.4%
50代	271	32.0%
60代	125	13.6%
70代	6	0.6%
合計	833	100.0%

■男女別

男性	121	14.5%
女性	712	87.0%
合計	833	100.0%

■職業別

出版社	63	7.6%
書店	38	4.6%
販売会社	53	6.4%
他出版関係	15	1.8%
図書館（公共・学校）	220	26.4%
教員（学校・幼稚園）	72	8.6%
公務員	48	5.8%
会社員	89	10.7%
学生	17	2.0%
主婦	86	10.3%
自営	37	4.4%
その他	95	11.4%
合計	833	100.0%

■都道府県別

北海道	23	2.8%
青森県	4	0.5%
岩手県	5	0.6%
宮城県	12	1.4%
秋田県	4	0.5%
山形県	5	0.6%
福島県	17	2.0%
茨城県	19	2.3%
栃木県	7	0.8%
群馬県	12	1.4%
埼玉県	59	7.1%
千葉県	57	6.8%
東京都	221	26.5%
神奈川県	92	11.0%
新潟県	17	2.0%
富山県	5	0.6%
石川県	8	1.0%
福井県	2	0.2%
山梨県	5	0.6%
長野県	29	3.5%
岐阜県	10	1.2%
静岡県	18	2.2%
愛知県	32	3.8%
三重県	10	1.2%
滋賀県	9	1.1%
京都府	12	1.4%
大阪府	24	2.9%
兵庫県	11	1.3%
奈良県	2	0.2%
和歌山県	5	0.6%
鳥取県	4	0.5%
島根県	0	0.0%
岡山県	5	0.6%
広島県	11	1.3%
山口県	6	0.7%
徳島県	0	0.0%
香川県	10	1.2%
愛媛県	9	1.1%
高知県	5	0.6%
福岡県	10	1.2%
佐賀県	3	0.4%
長崎県	3	0.4%
熊本県	9	1.1%
大分県	5	0.6%
宮崎県	8	1.0%
鹿児島県	4	0.5%
沖縄県	5	0.6%
合計	833	100.0%

【活動事例】

基本的に個人の活動のため、JPIC で活動を把握・管理しているものではありません。

ただ、自主的な組織ではありますが「JPIC 読書アドバイザークラブ（JRAC）」が、第 1 期修了式と同日に、修了生の発案で発足し、現在も、修了生の相互研鑽・共同活動・交流・情報交換の場として活発に機能しています。会員は約 600 名で、全国各地にいます。

JRAC の活動は「JRAC 通信の発行」、「会員用ホームページでの情報交換」、「学習会の開催」など、多岐にわたります。また全国には、身近な会員のつながりを活かす地域支部があり、現在 12 支部・学習グループ 2 組も独自に活動しています。

なお、自主的な組織ではありますが、JPIC としてもさらに JRAC の活動機会を広げるため、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」での読みきかせ講義の講師や「スミセイおはなしひろば」でのボランティア向け学習会での講師など、主催・協力事業での講師のほか、各種団体からの問い合わせにも対応し、おはなし会の読み手等の講師を依頼しています。また「マンガ感想文コンクール」「お気に入りの 1 冊」の審査など、活躍の場を広げています。

平成 31 年より『この本読んで！』との合同企画として「親子で読んでほしい絵本大賞」を開催。会員による選考委員が選出した候補作 12 作品を実際に読んで投票し、選考を経て受賞作の表彰をしています。このほか『この本読んで！』では、毎号、JRAC 会員がおはなし会プログラムや新刊紹介などを担当し、読者からも好評のコーナーとなっています。

Ⅱ．活躍に向けた課題

【図書館・学校図書館や地域における活動に際しての課題】

大きな課題はすべて自費での資格取得ということもあり、JRAC 会員以外の修了生の連絡先等を事務局は把握していないことです。特に初期の修了生はその当時メールなどもなく、30 年も経っていることから現在の活動を把握する方法がないという状況です。

また、期が同じであれば修了生同志の繋がりがあり、いろいろ情報交換されているようですが、JRAC の会員以外の修了生が期を越えて同じ地域で繋がりを持つことは事務局の前述の状況からサポート出来ていない状況です。

受講生一覧（属性別）でも分かるように図書館関係者が多くの割合を占めていますので、何らかの方法で地域ごとに修了生を繋ぎ直し、ネットワークを構築し地域における活動を支援することが必要だと考えています。

【人材育成に関する課題等】

1 年をかけて様々な勉強をして頂きますが、読書推進や出版界を巡る環境は大きく変化をしています。活動を継続頂くためには新たな知識の習得や定期的な情報の更新などが必要です。

現在、JPIC ではテキストを電子化し学びなおしをしたい修了生に提供し、講座で聞きたい内容のものがあれば、1 日聴講生として講義を受けられるようにしています。ただ、遠方の方であれば旅費や宿泊費が掛かり簡単に受けられるものではありません。

現在、JPIC では書店員を中心としたリスキングのための「e－ラーニング」の開発を進めており、そのメニューの中に読書アドバイザー養成講座の講義の一部を盛り込み、読書アドバイザー養成講座修了生に提供して学びなおしに役立ててもらいつつ、新たな修了生のネットワークを構築出来ないかと考えております。